

会長通信～活動報告～

半田市シルバー人材センター会長の活動状況を「会長通信～活動報告～」として会員のみなさまに向け、不定期ですが報告させていただきます。

久世孝宏半田市長を訪問

◆訪問日：7月1日14時30分

◆訪問者：会長・副会長・岩橋
局長・大久保主査

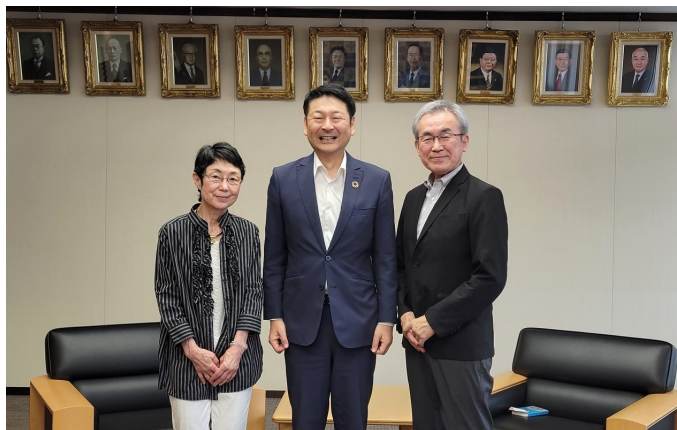
◆訪問目的

- ①会長交代の挨拶
- ②定時総会出席のお礼
- ③さらなる支援の依頼
- ④意見交換

当センターからは、

半田市から補助金支援や多くの

仕事の発注をいただいていることにまずは感謝。半田市住民の30%は60歳以上、そのうち1.5%が当センター会員であることをお伝えし、今後も高齢者が生き生きと活躍できる機会の提供をお願いした。



具体的には、

◇街づくり企画への人材センターの参加

◇「空き家」管理や市営墓地の清掃へのさらなる依頼

◇独自事業である「楽」へのお弁当の発注依頼検討

◇新しい観光資源の発掘事業の発注

◇派遣業務の発注

◇大学と行政とセンターで協力した事業の展開

など

定時総会のお土産の「玉ねぎ」をご自身でサラダにして食され、おいしかったとお礼の言葉をいただいた（農園倶楽部のみなさまに感謝です）。懇談の中で、「半田市の強みは、市民が独自で様々なコミュニティを作り活動されていることにある。」と多種多様な市民活動について評価。当センターとして、地域コミュニティとの関り方について模索していく必要があるのではないかと感じた。

また、半田市への集客の重要な要因の一つである観光分野については、「半田運河の整備も進み、山車祭り・新美南吉・カブトビールとともに観光の重要な一つになってきている。また、2022年に国の重要文化財に指定された小栗家住宅も新しい観光資源として期待ができる。」とさらなる取り組みへの意欲が示され、当センターがその事業にかかわれることに期待したい。「行政と協力するといろいろ物事が進めやすくなるので、協力できることは協力していきたい。」と心強いお話をいただいた。